

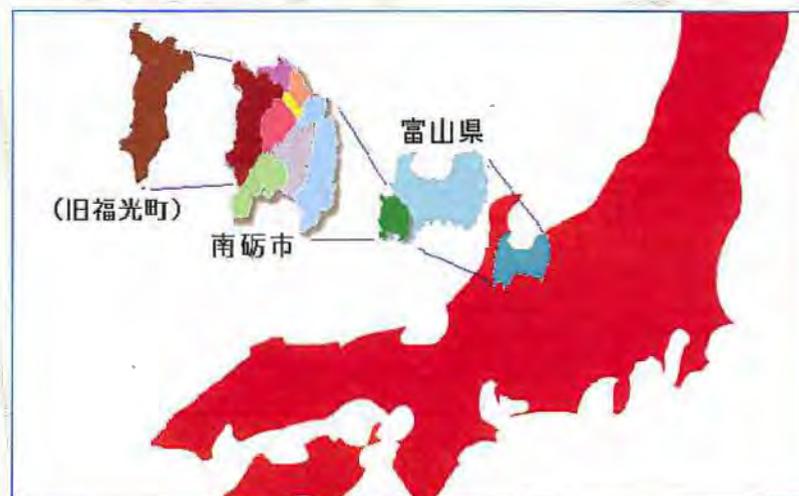
資料 1

第1回地域営農ビジョン全国研究大会



富山県南砺市荒木
福光農業協同組合

1. JA福光の概況



富山県南砺市福光地域(県の西南端、旧福光町)は石川県との境界線に標高1,000m以上の医王連山を有し、小矢川等の河川が流れる豊富な水と自然に恵まれた地域である。

気象については、4～5月は温暖で6月以降に梅雨を迎え、8～9月は比較的暑く稲作に適している。冬は寒暖差を利用した干柿の生産が全国でも有名である。

これまで地域を支えてきた兼業農家(農家の約94%)は高齢化に伴い、後継者不足農地資源荒廃が危惧されている状況となっている。

JA福光は、昭和41年(合併時)「福光農協基本構想」の策定に基づき昭和44～45年カントリーエレベーター施設の建設をはじめ、昭和52年「協同活動強化運動」の開始を経て、昭和56年より集落が自立する一町一農場を目指し、集落営農の組織化によって生産コストの低減等にすすめている。

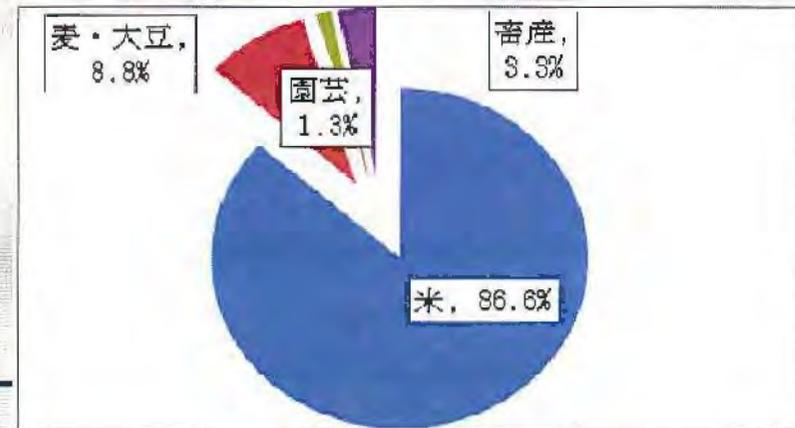
2. JA福光の概要

- ①組合員数 5,511名（うち正 3,783名、准 1,728名）
- ②役員数 25名（うち常勤 4名）
- ③職員数 200名（うち営農指導員 13名）
- ④支所・支店数 11地区センター・4事業所
- ⑤管内市町村数 1市町村（内訳：1市）

事業費

- ・ 購買高 29.9億円
- ・ 貯金 632.1億円
- ・ 貸出金 51.5億円
- ・ 長期共済保有高 1,902億円

・ 販売高 23.9億円



3. ビジョン策定・実践支援に関する主な取組み経過

ビジョン及び人・農地プラン(以下、「プラン」という)の一体的推進をはかるため、南砺市農業再生協議会の構成員組織として、行政(南砺市、県砺波農林振興センター)との連携により管内11地区でのプランの策定を支援した。

(1) JA主催のプランに係る取組

①平成24年12月上旬 福光生産組合連絡協議会

管内11地区の生産組合代表者との「地域農業の将来に関するアンケート」の調査結果に基づいて地域プラン策定の方向性を検討

②平成24年12月下旬～平成25年1月中旬 生産組合長および担い手合同会議

①の結果を受けての地区毎の生産組合長および担い手との協議・検討

③平成25年1月下旬 地区センター協同活動強化推進会議(プラン策定後の会議)

協同活動強化13次3か年運動(※1)において「地域密着型の営農組織体制の確立」「持続可能な地域農業の実現」「プランの作成・実行による担い手の明確化」等を中心に推進

④平成25年2月 各集落座談会

③の結果を受けての各集落(各農家)との将来の農業についての検討

(※2) 平成25～27年度地域農業振興計画(第13次3か年運動は、CI研究会(各部署の係長以下若手職員10名程度で構成、24年6～8月検討会)、業務研究会(CI研究会原案を参考に8～10月営農・金融共済・生活・管理総務等の各部会での課題検討)を経て24年12月協同活動運営委員会全体会議での最終案の承認決定。

(2) 行政主催の(①②は県農業再生協議会主催)のプランに係る取組 (JA参画)

①平成24年7月上旬 「プラン」パソコン研修会

プランの概要や、当該アンケートの調査結果を集計する「プランデータベースソフト」の使用方法についての説明

②平成24年11月上旬 プランの全体会議

県ブロック別の当該アンケート回答状況等についての協議・検討

③平成24年11月中旬 平成24年度第1回南砺市プラン検討委員会

同検討委員会の委嘱書交付、今後のプランの策定について説明

④平成24年11月下旬 プランに係る事務説明会

プランの策定に伴う協力金等の事務についての説明

⑤平成25年1月中旬 平成24年度第2回南砺市プラン検討委員会

11地区で策定されたプランについての審査・承認

4. ビジョン・プランの策定状況

①ビジョン策定済みの地区数 11地区 (目標・計画地区数11地区)

②プラン策定済みの地区数 11地区 (目標・計画地区数11地区)

5. ビジョン策定・実践支援の状況

(1) 策定・実践に向けた支援体制の整備状況

① J A内の支援体制の整備状況又は協議会内の支援体制整備状況

ア. 取組方針

協同の精神を基本として地域および地域農業に貢献するというJ Aの使命を果たすため、昭和52年より協同活動強化運動を開始し、昭和56年より集落営農の機能向上をはかるために集落営農の組織化等をすすめている。

その上で行政等の関係機関との連携協力により、各地区（集落）におけるビジョンの策定・実践に向けた取組を支援。

イ. 地域営農支援チームの体制

地区協同活動強化推進協議会（地区運営委員会）によるサポートの下で、11地区（プラン策定地区）に設置されている各センターが地区とJ Aとの調整役となり、それを受けて営農部を始めとする各部署が協同活動強化運動における3つのスローガンに基づき、「オール福光」で地域営農支援チームを形成する。

協同活動強化 第13次3か年（平成25年度～27年度）

“安心して暮らせる地域社会をめざして”

★「次代へつなぐ協同」

★「JA福光らしい組織運動の展開」

営農

地域資源の未来の創造

- I. 農業・農村を支える多様な担い手づくりの実践
- II. 地域農業を支えるものづくりの実践
- III. 「安全・安心・信頼」される福光農業ネットワークの創造

生活

豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けて

- I. 地域のライスラインを支えるJAとしての総合機能の実践
- II. 「安全・安心な暮らしの実現」に向けた協同活動の実践
- III. 地域コミュニティの活性化に向けたJA地域くらしの実践

経営

次代と共に存立する「協同に根ざした協同組合」を目指して

- I. JA福光らしき安全・安心な経営基盤戦略の実践
- II. JAの経営を支える健全性の維持・向上

課 題	現 状 (平成25年)	対 応 策	H25	H26	H27																																					
<p>I. 農業・農村を支える多様な担い手づくりの実践</p>																																										
1. TPP交渉参加問題	<ul style="list-style-type: none"> TPP交渉から「食と暮らし・いのち」を守り国会決議の実現をめぐる全国代表者委員会 TPPに関する全国委員会及びデモ行進 良質・多収性品種栽培の検討 	<p>TPP交渉参加断固反対</p>	○	→																																						
2. 良質・多収性新品種栽培の確立	<ul style="list-style-type: none"> 良質・多収性新品種栽培の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 良質・多収性新品種栽培の導入 	△	→																																						
3. 次代へつなぐ地域農業の確立	<p>人づくり</p> <p>「若い世代へのステップアップ」</p> <p>「JAによる「農業サポート」の創設検討」</p>	<p>次代へつなぐ地域農業の確立</p> <p>JAによる「農業サポート」の創設検討</p>	△	→																																						
3. 次代へつなぐ地域農業の確立 (continued)	<p>「若い世代へのステップアップ」</p> <table border="1"> <caption>若年世代の就労面積実績 (平成25年12月末現在)</caption> <thead> <tr> <th>就労形態</th> <th>24年度 (%)</th> <th>25年度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無労農家増殖</td> <td>22.4%</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>無農生産法人</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>認定農業者</td> <td>13.1%</td> <td>12.7%</td> </tr> <tr> <td>若年農業者</td> <td>19.7%</td> <td>20.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>福岡地域農業マスタープラン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">中心となる福光地域の農家数</th> <th colspan="2">若年農業者の存在</th> <th rowspan="2">中心となる農業者の就労面積割合</th> <th colspan="2">活用が見込まれる就労者</th> <th rowspan="2">進捗する農業者数</th> <th rowspan="2">担托する面積</th> </tr> <tr> <th>数</th> <th>割合</th> <th>農業者数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>105</td> <td>100%</td> <td>5</td> <td>2,491.7</td> <td>1,880.0</td> <td>06</td> <td>6</td> <td>24</td> <td>16.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成25年1月18日付で、認定地区11農家・農家プランに決定</p> <p>○JAによる「農業サポート」の創設検討</p> <p>○高齢化により若年農家の減少</p>	就労形態	24年度 (%)	25年度 (%)	無労農家増殖	22.4%	22.4%	無農生産法人	7.0%	7.0%	認定農業者	13.1%	12.7%	若年農業者	19.7%	20.2%	中心となる福光地域の農家数	若年農業者の存在		中心となる農業者の就労面積割合	活用が見込まれる就労者		進捗する農業者数	担托する面積	数	割合	農業者数	面積	合計	105	100%	5	2,491.7	1,880.0	06	6	24	16.1	<ul style="list-style-type: none"> 担い手継体への支援強化 <ul style="list-style-type: none"> 農地集積、延滞管理、金融相談などの支援体制の構築 農産物販路の見直し 集約型農業者から法人化への見直し 地域密着型の営農組織体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> 高齢化・後継者不足... <ul style="list-style-type: none"> 農業経営の継承が難しい... 集約、地域連携の低下... 営農活動のサポート充実・強化... <ul style="list-style-type: none"> 長期的な地域の担い手育成を実施 持続可能な地域農業の実現 <ul style="list-style-type: none"> 「人・農地プラン」の実行と更新で担い手の明確化 <ul style="list-style-type: none"> 地域の中心となる担い手を明確にし農地の集積をはかる 農地集積協力金の活用 若年就業者農村会等の支援対策の推進 女性就業者の参加促進 JAによる「農業サポート」のステップアップ <ul style="list-style-type: none"> 人財の育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> 農業者育成によって、安定的な労働力確保 農地の管理によって、農作業集約や不耕作地の解消 異なる時期でのサポーター派遣 	○	→	
就労形態	24年度 (%)	25年度 (%)																																								
無労農家増殖	22.4%	22.4%																																								
無農生産法人	7.0%	7.0%																																								
認定農業者	13.1%	12.7%																																								
若年農業者	19.7%	20.2%																																								
中心となる福光地域の農家数	若年農業者の存在		中心となる農業者の就労面積割合	活用が見込まれる就労者		進捗する農業者数	担托する面積																																			
	数	割合		農業者数	面積																																					
合計	105	100%	5	2,491.7	1,880.0	06	6	24	16.1																																	
4. 遊休地や不耕作地の活用	<p>遊休地を活用したキャベツ栽培</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遊休地や不耕作地の活用 	○	→																																						
4. 満足感ある農機サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 低コスト、高齢化農機の導入助成の確立 営農組織等における「オペレーター」への点検・整備技術指導 	<ul style="list-style-type: none"> 農作業事故の発生防止 <ul style="list-style-type: none"> 農機整備出現講習会の実施 7回実施 分科安全衛生法による71-73回経機講習会の開催 8名 延べ97名 農作業事故発生件数 4件 	○	→																																						
4. 満足感ある農機サービスの提供 (continued)	<ul style="list-style-type: none"> 農作業安全運動の強化 <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での農作業安全講習会の開催 オペレーターへの点検・整備技術指導の徹底 	○	→																																							